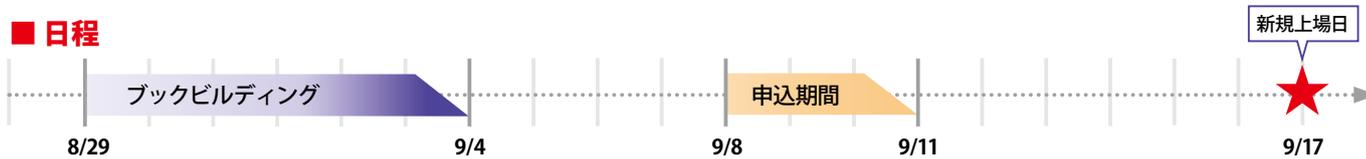


## IPO銘柄 ロックオン (3690・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3690	100 株	公募: 20.00 万株 売出: 14.30 万株 (OA5.14 万株)	1,200 円 ~ 1,300 円 (30.6 倍)	野村証券

### ■ 日程



## ネット広告効果測定やECサイト構築関連のビジネスを展開

### ■ 事業内容

インターネット広告効果測定システムなどの広告プラットフォーム事業と、Eコマース（電子商取引）サイト構築関連ビジネスの商流プラットフォーム事業を手掛ける。広告プラットフォーム事業ではインターネット広告測定システム「AD EBIS」と、顧客企業内に蓄積されたデータを組み合わせて広告出稿の最適化を行う広告運用プラットフォーム「THREe」を手掛ける。もう一方の商流プラットフォーム事業の主力は、安価で簡単にEコマースサイト構築が行えるASP（ソフト期間貸し）型の「EC-CUBE」。「EC-CUBE」の公式ガイドブックの出版も行っている。蓄積したビッグデータの分析を行い、最適化するマーケティングメトリックス研究所も保有。14年9月期第3四半期累計（13年10月～14年6月）の単体ベースの売上高構成比は、広告プラットフォーム事業が65.8%、商流プラットフォーム事業が34.2%。

### ■ 特徴

主力の「AD EBIS」はネット広告の表示、クリック数、広告の成果などを測定して広告への投資効率を分析することができるシステム。SEO（検索エンジン最適化）の効果やサイト内導線分析などの機能も有する。13年1月には第三者サーバーを搭載した「ViewThru EBIS」をリリースし、一貫したマーケティング効果の測定も可能にしている。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

14年9月期の連結経常利益は2億2,100万円を計画する。今期から連結決算に移行したため前期比較はないが、単体ベースの前期実績は7,500万円で、急速な規模拡大を見込んでいる。ネット広告需要が拡大するほか、同社の手掛ける運用型広告やターゲティング広告の需要が高まっている。

### ■ 定性分析

新興市場、IPO（新規上場）マーケットで注目度の高まる、アドテクノロジー関連銘柄として関心を集めている。IPOはお盆休みの空白期を経て投資家の参戦意欲も高まっているとみられ、ロックオンは好条件のそろった案件として人気を集めそうだ。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約5億円。ロックアップ条項の付されていないベンチャーキャピタル保有株は存在するが、それを加味しても需給妙味が非常に大きな案件に分類される。人気セクターで業績も急拡大しているため、初値買いに参加する投資家も多くなりそうだ。（小泉健太）

### ■ 類似企業

ロックオン(3690・マザーズ)	予想PER30.6倍 (仮条件上限)
VOYAGE GROUP (3688・マザーズ)	予想PER31.8倍
じげん (3679・マザーズ)	予想PER76.7倍

### ■ 引受証券

野村証券、SMBC 日興証券、岩井コスモ証券、極東証券、いちよし証券、マネックス証券、SBI証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
12年9月期(実績)	867	17.7	39	3.3	6	▲70.6	2.2	—
13年9月期(実績)	1,090	25.7	75	92.3	42	600.0	15.1	—
14年9月期(会社予想)	1,357	—	221	—	122	—	42.5	—

※14年9月期から連結決算。  
13年10月(1株→200株)、14年7月(1株→3株)に株式分割を実施。12年9月期、13年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
12年9月期	4,687	401	298	104	106.3	74.3	2.1
13年9月期	4,687	470	340	104	121.4	72.5	13.3

※12年9月期および13年9月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	岩田 進	1,538,700	52.00
2	福田 博一	591,600	19.99
3	又座 加奈子	236,700	8.00
4	ジャフコ・スーパーV3共有投資事業 有限責任組合	69,000	2.33
5	サイバーエージェント	60,000	2.03
5	みずほキャピタル第3号投資事業有 限責任組合	60,000	2.03
7	ロックオン従業員持株会	54,300	1.84
8	セブテーニ	51,000	1.72
9	博報堂DYメディアパートナーズ	30,000	1.01
10	和出 憲一郎	29,700	1.00

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長執行役員	岩田 進
取締役副社長執行役員	福田 博一
専務取締役執行役員 人事総務 ユニット長	又座 加奈子
取締役	和出 憲一郎
監査役(常勤)	藤本 光庸
監査役	塩尻 明夫
監査役	中町 昭人

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会